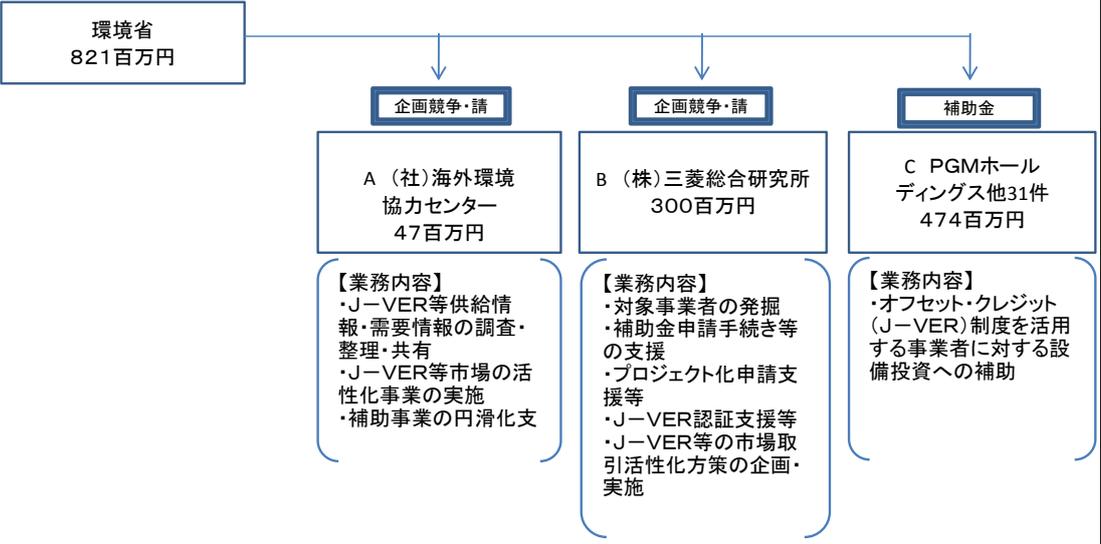


平成23年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	温室効果ガス排出削減・吸収クレジット創出支援事業等		担当部局庁	地球環境局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成20年度(1次補正予算)～平成21年度(2次補正予算)		担当課室	地球温暖化対策課市場メカニズム室		室長 上田康治		
会計区分	一般会計		施策名	1-2 国内における温室効果ガスの排出抑制				
根拠法令(具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	京都議定書目標達成計画 低炭素社会づくり行動計画 明日の安心と成長のための緊急経済対策				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	カーボン・オフセット(日常生活や事業活動に伴う温室効果ガス排出量を、他の場所で行われる排出削減・吸収活動により埋め合わせることに用いられる、国内の排出削減・吸収量(クレジット)を認証するオフセット・クレジット(J-VER)制度の活用推進を通じて、地球温暖化対策と地域活性化等の同時実現を図る。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	①J-VER制度の周知及び全国の温室効果ガス排出削減・吸収プロジェクトを掘り起こすために説明会を開催。また、制度を活用する事業者に対して、J-VERの認証・発行までのプロセスの支援を行うとともに、得られた知見を活用してプロジェクトの妥当性確認に係るプロセスの効率化を図る。 ②J-VERの認証・発行に係るプロセスを効率化するため、プロジェクトの妥当性確認や温室効果ガス排出削減・吸収量の第3者検証等を行う機関を育成する講習会等を開催する。 ③中小企業や農林業における新たな排出削減・吸収分野を開拓するため、オフセット・クレジット(J-VER)制度を活用する事業者に対し、設備投資への補助(上限:50百万円、補助率:1/3)、オフセット・クレジット(J-VER)創出に係る手続き支援等を実施する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額(単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算の状況	当初予算	-	-	-	-	-	
		補正予算	117	2,214	-	-	-	
		繰越し等	-	117	1,249	751	-	
		計	117	2,331	1,249	751	-	
	執行額		0	217	821	-		
執行率(%)		0%	66%	66%	-			
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	オフセット・クレジット(J-VER)制度の活用推進を通じて、地球温暖化対策と地域活性化等の同時実現を図る。活用推進の場として、J-VERの売り手と買い手のマッチング支援を行うイベントである「カーボン・オフセットEXPO」を年度内に3回開催。ここでの事業者間のマッチング活動について定量的に評価することは困難。		成果実績	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	-
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	①、②、J-VER認証・発行支援件数		活動実績(当初見込み)	件	-	-	169	-
	③、設備投資への補助件数			件	-	-	61	-
					(-)	(-)	(-)	
					(60)	(-)	(-)	
単位当たりコスト	①、② 2,053,254(円/支援件数) ③ 44,853(円/t-CO2)		算出根拠	①、② 業務費 347百万円 ÷ 支援件数 169 件 ③ 補助総額 474百万円 ÷ 補助件数61件におけるCO2削減見込み量10,568t-CO2				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	-	-	-					
	-	-	-					
	-	-	-					
	-	-	-					
	-	-	-					
	計	-	-					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・用途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	平成24年度概算要求無し		
予算監視・効率化チームの所見			
廃止	<p>本事業については、国内の排出削減・吸収量(クレジット)を認証するオフセット・クレジット(J-VER)制度の活用推進を通じて、地球温暖化対策と地域活性化等の同時実現を図るための検討を行い一定の成果を得る等、所期の目的が達成されたため、廃止。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
平成22年度限りで廃止とする。			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			



資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を
 行っているかについて補
 足する)(単位:百万円)

A. (社)海外環境協力センター					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費		23			
旅費		1			
印刷製本費		1			
賃金		6			
諸謝金		3			
借料損料		2			
外注費		2			
諸雑費		2			
一般管理費		5			
一般管理費		2			
計		47	計		0
B. (株)三菱総合研究所					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	オフセット・クレジット(J-VER)等創出地域支援(東日本) ※内訳提出協力依頼するも、協力を得られず。	300			
計		300	計		0
C. PGMホールディングス(株)					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
補助金	温室効果ガス排出削減・吸収量創出支援	50			
計		50	計		0
H.					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A. オフセット・クレジット(J-VER)活用推進事業

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(社)海外環境協カセンター	J-VER等供給情報・重要情報の調査・整理・共有等	47	2	99%

B. オフセット・クレジット(J-VER)等創出地域支援事業(東日本)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)三菱総合研究所	J-VER対象事業者の発掘等	300	1	99%

C. 温室効果ガス排出削減・吸収量創出支援事業(補助金)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	PGMホールディングス(株)	温室効果ガス排出削減・吸収量創出支援	50	—	—
2	(株)未来彩園	温室効果ガス排出削減・吸収量創出支援	34	—	—
3	(独)国立がん研究センター	温室効果ガス排出削減・吸収量創出支援	31	—	—
4	オリックス(株)、ポリテック(株)	温室効果ガス排出削減・吸収量創出支援	30	—	—
5	静岡油化工業(株)	温室効果ガス排出削減・吸収量創出支援	30	—	—
6	三和エナジー(株)	温室効果ガス排出削減・吸収量創出支援	29	—	—
7	琉球ジャスト(株)	温室効果ガス排出削減・吸収量創出支援	25	—	—
8	全国農業協同組合連合会	温室効果ガス排出削減・吸収量創出支援	24	—	—
9	オリックス(株)、大本紙料(株)	温室効果ガス排出削減・吸収量創出支援	18	—	—
10	(株)プリメール開発	温室効果ガス排出削減・吸収量創出支援	17	—	—